

## 1 医療的ケア児の地域支援体制検討ワーキングチームの設置の経緯

医療技術の進歩等を背景として、たん吸引や経管栄養等の医療的なケアを日常的に必要とする障害児（以下、「医療的ケア児」とする）の数が増加する中で、国において、医療的ケア児が、地域において必要な支援を円滑に受けることができるよう、地方公共団体において、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の各関係機関との連絡調整を行うための体制整備について必要な措置を講ずるよう努めることとされた。

これまで、本市では庁内関係部署が一同に会し協議するような機会もなかったことから、医療的ケア児に対する支援体制を充実させることを目的に、関係機関の協議する場として、医療的ケア児の地域支援体制検討ワーキングチームを設置した。

主に下記の内容について検討をしていく。

- ① 医療的ケア児に対する支援に係る各分野での取組や制度の共有
- ② 医療的ケア児に対する支援に関して各分野で抱える課題の共有
- ③ 地域の課題と現状の把握（アンケート等の実施）
- ④ 課題解決に向けた具体的な支援や取組の検討

## 2 第1回医療的ケア児の地域支援体制検討ワーキングチームの内容について

平成29年5月10日開催（別紙1を参照）

### ① 現状把握について

今後、各分野での現状（社会資源や課題等）を把握するための調査をしていく。

### ② 定義・対象者について（調査実施にあたり、医療的ケア児の定義や対象者を決定）

「日常生活を営む上で医療が必要な障害児（年齢は18歳になった年の年度末）」

### ③ 今後の課題等

医療的ケア児の定義について（範囲）→アンケートの内容、対象範囲の決定、配布方法の検討

各分野での社会資源や取組み、問題点の共有

公式な検討の場を設置（地域自立支援協議会の作業部会等）

## 3 今後のスケジュールについて

平成29年5月10日 第1回ワーキングチーム（WT）

平成29年7月12日 第1回協議会（第1回WTの内容と課題について）

平成29年9～10月 第2回WT（第1回協議会のフィードバックの内容等）

平成29年12月 第2回協議会（平成30年度公式な検討の場の設置について）

平成30年1月 第3回WT（委員等の選定について）

※ 必要に応じ、WTを随時行う。